

代表質問通告表

平成27年第2回沖縄県議会(定例会)

06月25日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	27分	玉城 満(県民ネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

- 1 知事の政治姿勢について
 - (1) 辺野古埋立関連について
 - ア 埋立承認の取り消し・撤回の判断時期について伺う。
 - イ 埋め立て反対に対する県外支援及びマスコミ報道等の変化について知事の見解を伺う。
 - ウ 検証委員会の進捗について伺う。
 - エ 訪米の成果について伺う。
 - オ 米ワシントン事務所の今後の活動について伺う。
 - カ キャンプ・シュラブの新基地建設予定地付近で発見されたいかり石の調査について伺う。
 - (2) 知事公約関連について
 - ア アジア戦略構想の取り組みについて伺う。
 - イ 国際的な交通・物流ネットワーク構築に向けての取り組みについて伺う。
 - ウ 「こども環境・日本一」の実現に向けた取り組みについて伺う。
 - エ 沖縄県の均衡ある発展を実現するための知事の指針を伺う。
 - (3) 集团的自衛権行使を可能にする安保法案について知事の見解を伺う。
 - (4) 沖縄県民所得増に向けて知事の見解、施策を伺う。
- 2 知事公室関連について
 - (1) 日米地位協定の抜本的な見直しに向けての県の対策について伺う。
 - (2) 基地返還後の環境整備・浄化について日米両政府と県のルール規定が不透明だが県の方針を伺う。
- 3 文化観光スポーツ部関連について
 - (1) 県が推進するMICE施設が東海岸のマリントウンに決定したが今後の経済効果について伺う。
 - (2) 観光業界における雇用の課題と対策について伺う。
 - (3) 那覇空港の国際線ビルの課題について県の見解を伺う。
 - (4) 離島観光のビジョンについて伺う。
 - (5) 新県立郷土劇場の進捗について伺う。
 - (6) しまくとぅばの継承と発展に向けた県の実績と今後の施策を伺う。
 - (7) 組織が乱立している沖縄民謡界の統合に向けた県の取り組みについて伺う。
- 4 総務部関連について
 - (1) 県の人口増加によるメリットと今後の課題について伺う。
 - (2) 消費税増税後の沖縄県への影響について伺う。
 - (3) 全国的に公契約条例の必要性がうたわれているが県の見解を伺う。
 - (4) 全国で個人情報流出問題が頻発の傾向にあるが県の危機管理は万全か伺う。
- 5 企画部関連について

- (1) 各地方自治体・広域圏でLRT導入に向けたシンポジウム等を開催しているが県のかかわり、対応を伺う。
 - (2) 鉄軌道県民会議が開催され、あらゆるジャンルの意見が出されたと思うが県の対応と課題について伺う。
 - (3) OKICA導入後の効果と課題について伺う。
 - (4) 沖縄県と県経済界がJTAの経営母体となることでJTAが真の沖縄の翼として観光・物流の発展に寄与すると考えるが県の見解を伺う。
- 6 商工労働部関連について
- (1) 再開発の影響やドーナツ化現象で各自治体の中心市街地の弱体化に対する県の対策と県土の均衡ある発展のためにも積極的な広域調整が必要と考えるが県の見解を伺う。
 - (2) 中城湾新港地域・国際物流特区の振興は順調か県の見解を伺う。
 - (3) 県製造業のここ数年の傾向と課題を伺う。
 - (4) 他酒類の台頭により影響を受けている県産品泡盛の競争力強化に対する県の見解を伺う。
- 7 土木建築部関連について
- (1) 下地島空港利活用の進捗について伺う。
 - (2) 国、県事業が施行されるに当たり当該自治体在籍の業者の優位性を確保すべしと考えるが県の方針を伺う。
 - (3) 米軍関係工事のボンド支援について伺う。
 - (4) 本島南部・中部・北部の港湾整備と課題について伺う。
- 8 農林水産部関連について
- (1) 5月の台風6号の県農林水産物の被害状況について、またその対策について伺う。
 - (2) 日台漁業協定、並びに漁業従事者の操業の現状はどうなっているか伺う。
- 9 病院事業局関係について
- (1) 長寿日本一奪還の施策について伺う。
 - (2) 西普天間に計画されている国際医療特区構想について伺う。
 - (3) 子宮頸がんワクチン副反応被害者の支援について伺う。
- 10 環境部関連について
- (1) 沖縄県の生物多様性の危機管理について見解と方針を伺う。
 - (2) 離島のごみ処理問題について課題と対策を伺う。
- 11 教育委員会関連について
- (1) 学校現場における平和教育について伺う。
 - (2) モンスターペアレンツの実態と対策について伺う。

代表質問通告表

平成27年第2回沖縄県議会(定例会)

06月25日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	19分	金城 勉(公明県民無所属)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 基地問題について

(1) 知事訪米の成果と課題及び今後の取り組みについて

(2) 嘉手納ラプコンについて

ア 嘉手納基地や普天間基地の米軍機と那覇空港の民間機の管制業務は具体的にどのようなルールで運用されているか。

イ 嘉手納基地を中心に半径約90キロメートル、高さ約6000メートルに設定されていた嘉手納ラプコンは、今はないという理解でいいか。

(3) 地域安全政策事業について、委託業務の進捗状況と事業の狙いは何か。また、ワシントン駐在員活動事業との違いは何か。

2 企画関係について

(1) 国からの財政支援について、一括交付金制度スタート以降、全国比較で沖縄県はどのランクにあるか。

(2) マイナンバー制度の取り組みについて

ア 明年1月実施予定であるが、県と各市町村の進捗状況はどうか。

イ 個人情報保護について対策はどうか。

ウ 県民への周知についてどう取り組んでいるか。

(3) 鉄軌道導入等公共交通について

ア 鉄軌道を初め、公共交通に対する県民の意識啓発の取り組み、市町村との連携はどうか。

イ 本年度中の導入計画案策定の進捗状況はどうか。

ウ 路線バスの運転手不足との情報があるが、対策はどうか。

(4) 離島で極端に高額のごみ袋を使用している島があるが、把握しているか。高額のごみ袋購入費の助成のあり方を検討できないか。

3 沖縄振興について

(1) 観光振興について

ア 本年度の観光誘客について、国内客と外国客の目標を示してください。

イ アジアからの外国人誘客における課題と対策について

ウ 那覇空港国際線ターミナルビルの拡充整備について

エ 海洋レジャー振興について県計画はどうか。

(2) アジア経済戦略構想について、構想取りまとめの進捗状況を伺う。

(3) 那覇空港の安全運用について

ア 今回のトラブルを踏まえて、再発防止策についてどのように対応するか。

イ 自衛隊機との共用について、今後、どう検討するか。

(4) 航空機整備施設について、用地の確保など進捗状況を伺う。

ア 自衛隊施設の移転費用について、国交省、防衛省、県の負担割合が決着したと報道されているが、どのような内容か。

イ 運営主体の選定はどのように進めるか。

- ウ 期待される経済効果や雇用効果はどのように見込んでいるか。
- (5) 沖縄県金型技術研究センターで研究開発されているコンバートEV自動車の産業化への支援策はどうか。
- 4 子ども子育て支援について
- (1) 「情緒障害児短期治療施設」設置に向けて進捗状況はどうか。
- (2) 待機児童解消の目標年度を平成29年度としているが、見通しはどうか。また、そのための保育士の必要数と確保の見通しはどうか。
- (3) 5歳児問題への対応について、幼稚園での延長保育や保育園での受け入れ状況はどうか。
- (4) 放課後児童クラブの公的施設への移行について、実績と今後の見通しはどうか。また、利用料の推移はどうか。対象が6年生まで広がったことによる課題はどうか。
- 5 障害者支援について
- (1) 障害者施設での虐待の実態と対策について
- (2) 重度障害児・者の医療費について、市町村とも連携の上、自動償還払いにできないか。
- 6 土木建築関係について
- (1) 泡瀬地区埋立事業について
- ア 進捗状況はどうか。
- イ マリーナ整備について、海洋レジャーの拠点として期待されているが、係留予定数や運営方法について伺う。
- (2) 県営住宅の台風対策として風当たりの厳しい個所について雨戸の設置を検討してはどうか。
- (3) 空き家対策について
- ア 県内での空き家の実態はどうか。
- イ 全国では400を超す自治体が条例を制定し、対策に乗り出している。県としても「空き家対策条例制定」について検討が必要ではないか。
- ウ 空き家対策について市町村との連携はどうか。
- 7 教育政策について
- (1) 18歳選挙権実施に向け、教育現場の対応について
- (2) 脳脊髄液減少症について
- ア 学校現場での実態調査について
- イ 条例制定について
- (3) 給付型奨学金制度の創設時期について
- (4) 給付型海外留学支援制度の活用実績と啓蒙の取り組みについて
- (5) 生活困窮者世帯支援の無料塾「大学等進学支援事業」が本年度は那覇市と沖縄市で予定されているが、応募状況と昨年度の実績について伺う。
- (6) 日本語教育の学校教育支援員について、実施状況はどうか。また、市町村からの新たな要望はあるか、その際の判断基準はどうか。
- 8 農水産業関係について
- (1) 季節に関係なく年中、生産できる野菜工場が注目されているが、県産野菜の安定供給のために野菜工場の可能性をどのように評価しているか。
- (2) モズク養殖振興について
- ア 過去5年間の生産高と価格の推移はどうか。
- イ モズクの高付加価値化のための研究開発状況はどうか。
- (3) 県内豚肉生産体制の需給関係のバランスはどうか、また、強化策はどうか。
- (4) ヤギ肉生産の現状と取り組みはどうか。
- 9 公安関係について
- (1) DV、ストーカー事件への対応について
- (2) 自転車運転の法令改正への対応について

- ア 県内での自転車事故の実態はどうか。
 - イ 改正道路交通法施行により、自転車運転の罰則が強化されたが取り組みはどうか。
- (3) 危険ドラッグの実態と対策について

代表質問通告表

平成27年第2回沖縄県議会(定例会)

06月25日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	15分	嘉陽 宗儀(共産党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 知事訪米についての総括と自己評価を伺う。

ア 自民党政府や、菅官房長官は「成果なし」、「翁長雄志知事は辺野古移設が唯一の解決策だということ認識して帰ってくるのではないかと酷評し、「本土での辺野古反対の盛り上がりも、政権批判の世論も長続きしない。もってあと半年だ」と国民の「辺野古新基地建設反対」の闘いを侮っています。これは米軍基地建設のためには県民の犠牲は当然であるとする屈辱的な態度であり沖縄を差別し、「捨て石」にする作戦で、絶対に許してはなりません。この間の翁長知事の日米両政府の圧力にも屈せず堂々と県民の意思を内外に明確に発信してきた態度は実に素晴らしかったと思います。高く評価します。日米両政府の壁はどんなに厚かろうが、県民を先頭とする国民の闘いで必ず打ち破ることができます。「新基地建設反対」「憲法9条を守れ」「戦争する国づくり」を許さないという国民の運動が大きく合流し、大河となって日本の歴史を確実に突き動かしています。この流れはもう誰も決してせきとめることはできません。このことに確信を強めて知事には引き続き頑張ってくださいと思います。決意をお伺いします。

イ この知事の勇氣ある態度はとりわけ、「沖縄コンプレックス」を抱えながら、生き抜いてきた中高年の方々を励まし、勇氣づけるものになっています。私も思わず「シタイヒヤー」と叫んでいました。ケビン・メア元在沖総領事の県民を侮辱した発言や、前知事の辺野古の違法な埋立承認をした後の「いい正月を迎えられる」などの発言が大きく県民の心を傷つけてきましたが、今回の翁長知事の勇氣ある行動が、それを払拭し沖縄県民としての誇りを取り戻す大きな力になったと思います。所見を伺います。

ウ 知事がこれまでとってきた新基地建設を許さない立場での「基地の形成過程を歴史的に明らかにして県民の苦渋を日米両政府に訴えた」ことは大変意義があり説得力があったと評価します。一方で沖縄の基地問題の原点をもっと強調すべきではないかと考えます。なぜ、県民は米軍基地を拒否するのか、ということを入権問題に光を当てて、最重要課題として位置づけて説明すべきではないかと考えます。基地あるがゆえの県民の被害、レイプされ、殺され、ごみ捨て場に捨てられた人たちの怨念が成仏できずにさまよっているのではないかと考えると胸が痛みます。何とかしたいものです。この立場を大きく打ち出すことが、新基地建設を許さない闘いの核心にすべきではないかと考えます。知事の所見を伺います。

エ 私は、この問題を警察など公的機関さえ情報収集が不十分な状況にあることに注目して、戦後から今日までの米軍人関係の犯罪について資料を集めるなど調査をしています。困難な状況にあります。どうしても行政の力で、プロジェクトチームをつくるなどして特別の対策が必要だと考えます。知事の所見を伺う。

(2) 戦後70年、沖縄における米軍人関係者の犯罪の実態と処罰の状況はどうなっているか。

(3) 沖縄県民が基地あるがゆえに人権は奪われ、虫けらのように殺されているのに「辺野古移設が唯一の解決策だ」と主張するのは政治的にも道徳的にも墮落だと考えるが、所見を伺う。

(4) 沖縄県議会が米軍関係の犯罪・事件事故について、復帰して今日までの決議・意見書の議決の実態はどうなっているか。

(5) 米軍基地の実態について

ア 空・海・陸域の米軍支配の状況はどうなっているか。

イ それが沖縄経済に与えている実態を掌握しているか。

- (6) 海兵隊の任務と正体について説明を求める。沖縄県民を守っているか。
 - (7) 埋立承認の撤回・取り消し問題、辺野古新基地建設を阻止する今後の闘いについて
 - (8) 「嘉手納以南」の問題について
 - ア 那覇軍港移設問題について
 - イ 知花弾薬庫に対する取り組みについて
 - (9) オスプレイの配備撤去の取り組みについて
 - (10) 高江ヘリパッド建設反対の取り組みについて
 - (11) 憲法9条を守り抜き、戦争法案を絶対に許してはなりません。沖縄の米軍基地がかなめ石の役割を果たすことになり、戦場にされかねません。絶対に阻止すべきです。決意を伺います。
- 2 教育問題について
- (1) 学力向上の取り組みの検証について
- 3 泡瀬干潟のラムサール条約へ登録に向けての取り組みについて
- 4 沖縄市サッカー場からの枯れ葉剤・ダイオキシン検出の実態と人体への影響について
- 5 沖縄市ごみ山からの浸出水・地下水の汚染水対策について